


 日本生殖看護学会ニュースレター

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)


 No.47

## ● ● ● 目 次 ● ● ●

・「生殖看護、不妊症看護をもっと対象者に届けるために」	1
・第15回学術集会のご案内	2
・生殖看護実践セミナーのご案内	4
・不妊症看護認定看護師ポストコース講座のご案内	4
・これから行われる学会・研修会情報（2017.7月～10月）	5
・勉強会の開催報告	6
・研究助成のお知らせ	7
・理事会報告	8
・事務局からのお知らせ	8
・編集後記	8



## 「生殖看護、不妊症看護をもっと対象者に届けるために」 ～実践・教育・研究の循環に向けて～

日本生殖看護学会副理事長 上澤悦子

新年度に入り、あわただしく過ごすうちに早くも梅雨入りしました。初夏の学会シーズンでもあり、日本生殖看護学会会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

本学会の会員数は5月9日現在で350名を超えました。理事会は、学会の発展に向けて実践・教育・研究を循環させ、会員の皆様の期待に応えるべく日々努力しています。

### 1. 会員の実践・研究に対する支援事業

会員の皆様の研究や実践の発表の場として、学術集会があります。今年度第15回は有森直子理事が学術集会長を務め、「生殖看護を意思決定支援の視点から再考する」のテーマで、9月10日新潟市での開催となります。前日の9日には、認定看護師ポストコース講座と看護実践セミナーもあります。鋭意、準備が整いつつありますので、2日間での参加を予定していただき、活発な意見交換をお願いいたします。これに次いで、9月30日には、仙台市で開催される第20回日本IVF学会において、本学会はパネルディスカッション「高齢者のART治療後の次世代養育の現状と課題」を共催します。こちらも実践に役立つ豊かな情報が得られること請け合いですから、皆様のご参加をお待ちしております。

そして、会員の皆様が専門職として日々、研鑽していくためには臨床研究が重要です。本学会の将来検討委員会では研究助成のための応募を受けつけています。6月末までが応募期間となります。委員会では研究支援も実施していきたいと考えていますので、奮ってご応募ください。

## 2. 実践者に支えられる理事の研究活動

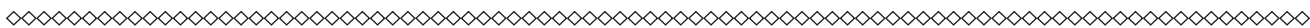
今回、生殖看護の発展に向けた理事による研究の取り組みの一部を会員の皆様に紹介します。

ご紹介する2つの研究は、文部科学省科学研究補助金を受けて進行しているものです。1つは、本学会の将来構想に向けた事業計画の1つで、野澤美江子理事長が研究代表者となっている研究課題「現代社会が求める生殖看護に関わる看護師のコンピテンシーモデルの創生」です。ニュースレターNo.46でもお知らせしましたが、昨年の第19回日本IVF学会で「生殖看護の役割を考える」をテーマとしたパネルディスカッションを行い他職種からの意見を収集しました。本年は、国内外の文献レビューにより生殖看護の定義・概念の明確化をはかっています。今後、生殖看護のエキスパートの皆様にもインタビュー等を予定しておりますので、ご協力をお願いいたします。

もう1つは森明子理事を研究代表者とする研究課題「一般不妊治療を受ける女性患者に対する指導管理プログラムの効果」です。一般不妊治療受療の女性に医師と看護師が個別に双方向性のある説明・指導・相談の介入を行うプログラムは、治療における女性の積極的な参加と治療中の生活改善や自己管理ができることを目指します。その結果として、プログラムを受けない女性と比べQOL、妊娠までの期間、妊娠率の向上、治療費の軽減に影響の差がみられるかどうかを調べるものです。この研究の成果は、一般不妊治療中における説明や相談等に診療報酬加算を申請するうえで有用なエビデンスとなる可能性があります。研究協力をご承認いただいた施設の皆様には今後しばらくお世話になりますので、よろしくお願い申し上げます。

## 3. 不妊症看護を専門とする看護師の教育

本学会の事業の多くは不妊症看護認定看護師（不妊症看護CN）の方々の活動で支えられています。本学会では、生殖に課題がある人々へのケアまで拡大して生殖看護を考えていますが、不妊症看護はその中核あるいは根幹を成すものです。しかしながら、全国に一課程しかない不妊症看護認定看護師教育課程への入学志願者が伸び悩んでおります。生殖看護、不妊症看護に興味がある方、受験を考えておられる方、自施設に不妊症看護CNを誕生させたいとお考えの方、今年度の出願期間は、8月28日～9月8日（一次募集）、2018年1月15日～1月26日（二次募集）です。ぜひとも出願をご検討いただきたくお願い申し上げます。



# 第15回 日本生殖看護学会学術集会のご案内

テーマ：生殖看護を意思決定支援の視点から再考する

日時：2017年9月10日（日）9時～16時30分

場所：新潟日報メディアシップ2階 日報ホール

この度、第15回 日本生殖看護学会学術集会を初めて日本海側の地方都市である新潟で開催いたします。不妊治療が進歩し、選択肢が増える一方で、カップルは子どもを授からない限界も踏まえつつ、自分達らしく「選択する」ことが現状においてできているのでしょうか？

今回の学術集会では「生殖看護を意思決定支援の視点から再考する」をテーマといたしました。シンポジウムは、不妊に関する意思決定の在り方について討論を中心に進めたいと思います。さらに、教育講演では「不妊クリニックから産科クリニックへの橋渡しー切迫流産についてー」と題して、新潟で不妊治療から出産までを継続的包括的に診療されている荒川・大桃エンゼルマザークリニックの荒川先生からご講演いただきます。また、インフォメーションエクステンジとして、デジジョンエイドとなるリーフレットを先駆的な不妊医療施設からご紹介いただく予定です。多くの皆さまのご参加を、企画・実行委員一同心よりお待ちしております。

(学術集会長 有森 直子)

### 【学術集会プログラム】

9:00~	開場・受付開始
9:30~9:50	開会の辞 会長講演 有森 直子氏 (新潟大学大学院保健学研究科)
10:00~11:10	一般演題 (口演) 発表
11:15~12:15	教育講演 「不妊クリニックから産科クリニックへの橋渡しー切迫流産についてー」 演者: 荒川 修氏 (荒川・大桃エンゼルマザークリニック 院長)
12:25~13:25	ランチョンセミナー (共催: 株式会社 パートナース) 「受精着床環境と次世代の健康を考える」 演者: 福岡 秀興氏 (早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構)
13:30~14:00	総会
14:05~15:15	シンポジウム 「医療は不妊状態にある人々の意思決定の支援をしているか」 問題提起者: 河合 蘭氏 (出産ジャーナリスト) 指定発言者: 吉村 泰典氏 (生命の環境研究所) 村上貴美子氏 (蔵本ウィメンズクリニック) 赤星ポテ子氏 (妊活イラストレーター)
15:20~16:20 (同時進行)	一般演題 (ポスター) 発表 インフォメーションエクステンジ
16:20~16:30	閉会の辞

\*時間は変更の可能性があります。最新情報はホームページをご確認ください

### 【参加申し込み方法】

右記の申込フォームにアクセスし、必要事項を入力の上送信してください。

フォーム送信後、指定の口座 (下記参照) へ参加費をお振り込みください。

\*学会事務局が入金を確認次第、申し込み完了となります。申込フォームの送信のみでは申し込み完了とはなりませんのでご注意ください。

\*バーコードが読み取れない場合は、学術集会ホームページよりご登録ください。(http://jsfn15.jpn.org/)

#### <参加費>

事前登録: 会員5,000円、非会員6,000円、学生 (大学院生・研修生は除く) 1,000円

当日参加: 会員6,000円、非会員7,000円、学生 (大学院生・研修生は除く) 1,000円

<事前参加申込み受付期間> 平成29年8月14日 (月) まで

#### <振込先>

[金融機関名] ゆうちょ銀行 [店番] 〇五九 (ゼロゴキユウ) 店

[記号番号] 00500-5-86739 [口座番号] 0086739

[預金種目] 当座 [口座名義] 第15回日本生殖看護学会学術集会



申込フォーム  
表示用バーコード

### 【ランチョンセミナーのご案内】

事前参加登録者および若干名分の昼食をご準備いたしますので、事前参加登録をしていただくことをお勧めいたします。

【お問い合わせ先】

第15回 日本生殖看護学会学術集会 事務局（新潟大学大学院 保健学研究科）  
〒951-8518 新潟県新潟市中央区旭町通2番町746  
事務局E-Mail：jsfn15-office@clg.niigata-u.ac.jp  
学術集会HP：http://jsfn15.jpn.org/

第12回生殖看護実践セミナー

- 【テーマ】「妊娠を視野に入れた女性の健康と中医学」  
【日時】2017年9月9日（土）13：30～16：00  
【場所】新潟日報メディアシップ（2F）日報ホール  
住所：新潟県新潟市中央区万代3-1-1（新潟駅から徒歩10分です）  
【目的】妊娠を希望する女性とケアする人の健康に役立つ漢方や針灸治療について、体験を含めて学びましょう。  
【内容】1. 講演「妊娠を視野に入れた女性の健康と中医学」  
2. ツボ療法の体験、質疑応答  
講師：西條 信義先生  
（西山薬局・西山鍼灸院代表、日本不妊カウンセリング学会認定不妊カウンセラー）  
\*ご準備いただきたいこと\*  
動きやすい服装でご参加ください。また、小さな鏡（コンパクト、手鏡など）をご持参ください。  
【参加費】会員：無料，非会員：1,000円  
【お申込み】参加ご希望の方は、お名前、ご所属、連絡先、会員番号を明記の上、9月1日（金）までにメール又はFAXでお申し込みください。FAX用紙は学会HPよりダウンロードできます。皆様のご参加をお待ちしております。  
【お申込み・お問い合わせ先】教育推進委員会 担当：青柳優子  
E-mail：jsfn.edu@gmail.com FAX：047-350-0654

2017年度 不妊症看護認定看護師ポストコース講座

今年度も不妊症看護認定看護師のスキルアップと交流を目的としたポストコースを第15回日本生殖看護学会学術集会の前日に開催します。看護実践や治療における新たな視点をまなび、認定看護師間の親睦を深めませんか。認定看護師の皆様の参加をお待ちしております。

日時：2017年9月9日（土） 9：30～16：00  
場所：新潟日報メディアシップ日報ホール（新潟市中央区万代3-1-1）  
対象：不妊症看護認定看護師

プログラム：

- 9：30～10：25 不妊症看護認定看護師による活動報告  
「更新審査に向けて レベルの保持・合格のコツ」  
報告者：岡崎 友香氏（群馬中央病院）、小池 弘子氏（フラワーベルARTクリニック）  
10：25～12：00 テーマ別グループセッション  
12：00～13：30 昼休憩 ※昼食は各自おとりいただきます。  
13：30～16：00 講演「妊娠を視野に入れた女性の健康と中医学」  
講師：西條 信義氏  
（西山薬局・西山鍼灸院代表、日本不妊カウンセリング学会認定不妊カウンセラー）

参加費：5000円

申込・お問い合わせ：聖路加国際大学教育センター 生涯教育部HPより申込してください。

URL：http://edu-sk.luke.ac.jp/

## これから行われる学術集会・研修会情報 (2017年7月～10月)

月	日	学会・研修会名	会場	学会 HP / 運営事務局
7月	2日～5日	欧州ヒト生殖医学会：ESHRE (第33回)	ジュネーブ(スイス)	<a href="https://www.eshre2017.eu/">https://www.eshre2017.eu/</a>
	20日～21日	日本受精着床学会 (第35回) 「生殖医療の未来を見据えて -Happiness of child, Welfare of family-」	米子コンベンション センター BiG SHiP (鳥取県米子市)	<a href="http://jsfi35.umin.jp/greeting.html">http://jsfi35.umin.jp/greeting.html</a> 株 MA コンベンションコンサルティング内 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7 麹町パークサイドビル402 TEL：03-5275-1191 FAX：03-5275-1192 E-mail：jsfi35@macc.jp
	29日～30日	日本女性心身医学会 (第46回) 「心と身体の性差医療」	コンgresクエア日 本橋(東京都中央区)	<a href="http://jspog-46th.sakura.ne.jp/">http://jspog-46th.sakura.ne.jp/</a> 東邦大学医療センター大森病院 心身 医学講座 〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1 TEL：03-3762-4151 (内線6893) E-mail：jspog46@med.toho-u.ac.jp
8月	25日～27日	日本思春期学会 (第36回) いのちのバトンを繋ぐ ～いのちが生まれるのも、変える もの～	宮崎シーガイア コンベンションセンター (宮崎県宮崎市)	<a href="http://www.ibmd.jp/jsa2017/index.php">http://www.ibmd.jp/jsa2017/index.php</a> ○東京事務局 帝京科学大学 医療科学部看護学科内 志村 智絵 〒120-0041 東京都足立区千住元町34-1 TEL & FAX：03-6910-3501 E-mail：shisyunki36@gmail.com ○宮崎事務局 宮崎県立看護大学 別科助産専攻 濱崎 真由美 〒880-0929 宮崎市まなび野3-5-1 TEL：0985-59-7719 FAX：0985-59-7779 E-mail：bekka-mw@mpu.ac.jp
9月	9日	不妊症看護認定看護師ポストコース講座 活動報告「更新審査に向けて レベルの保持・合格のコツ」 講演「妊娠を視野に入れた女性の健康と 中医学 (生殖看護実践セミナー共催)」	新潟日報メディアシップ 2F 日報ホール (新潟県新潟市)	聖路加国際大学教育センター生涯教育部 申込 URL： <a href="http://edu-sk.luke.ac.jp/">http://edu-sk.luke.ac.jp/</a>
	9日	生殖看護実践セミナー (第12回) 「妊娠を視野に入れた女性の健康 と中医学 妊娠を希望する女性と ケアする人の健康に役立つ漢方や 鍼灸治療を学びましょう」	新潟日報メディアシップ 2F 日報ホール (新潟県新潟市)	<a href="https://plaza.umin.ac.jp/jsin/study/jsinsem2017.9.9.pdf">https://plaza.umin.ac.jp/jsin/study/ jsinsem2017.9.9.pdf</a> 日本生殖看護学会教育推進委員会 担当：青柳優子(順天堂大学医療看護学部) E-mail: jsfn.edu@gmail.com FAX：047-350-0654 TEL：047-355-3111(代)
	10日	日本生殖看護学会 (第15回) 「生殖看護を意思決定支援の視点 から再考する」	新潟日報メディアシップ (新潟県新潟市)	<a href="http://jsfn15.jpn.org/">http://jsfn15.jpn.org/</a>
	22日～24日	The 3rd Asian Oncology Nursing Society (AONS) Conference	北京 (中国)	<a href="http://aons.asia/confer/main/main.php">http://aons.asia/confer/main/main.php</a>

9月	23日～24日	日本遺伝看護学会（第15回） 「生きるを支える遺伝看護の探求」	宮崎シーガイア コンベンションセンター （宮崎県宮崎市）	<a href="http://idenkango.com/05/05_1/16.html">http://idenkango.com/05/05_1/16.html</a> 〒889-1692 宮崎市清武町木原5200 宮崎大学医学部看護学科内 日本遺伝看護学会第16回学術大会事務局 TEL：0985-85-9824 FAX：0985-85-9846 E-mail：jsgn16@med.miyazaki-u.ac.jp
	30日～ 10月1日	日本 IVF 学会、第20回学術集会 *日本生殖看護学会からはパネル ディスカッションを企画しています 「高齢者の ART 治療後の次世 代養育の現状と課題」	メトロポリタン仙台 （仙台市）	<a href="http://www.ivf-et.net/news/">http://www.ivf-et.net/news/</a>
10月	6日～7日	日本母性衛生学会（第57回） 「予知予防と心の支え」	神戸国際会議場 神戸国際展示場2号館 （兵庫県神戸市）	<a href="http://web.apollon.nta.co.jp/bosei58/">http://web.apollon.nta.co.jp/bosei58/</a> 神戸大学医学部産科婦人科学教室 〒650-0017 神戸市中央区楠町7丁目5-1 TEL：078-382-6000 E-mail：jsmh58@med.kobe-u.ac.jp
	20日～22日	世界看護科学学会：WANS （第4回）	バンコク（タイ）	<a href="http://wans.umin.ne.jp/images/wans_5th.pdf">http://wans.umin.ne.jp/images/ wans_5th.pdf</a>

## 2017年度 第3回将来検討委員会 勉強会報告

将来検討委員会 上澤悦子、勝又由美、中村希、川元美里

2017年4月22日13時からの3時間を使い、第3回将来検討委員会勉強会を聖路加国際大学で開催しました。今回は『会員のための研究発表支援セミナー～第15回日本生殖看護学会学術集会での発表を応援します～』というテーマで、参加者があらかじめ持参した学会発表や研究課題について、本学会の理事2名と将来検討委員による個別相談が行われた。

参加者は3名（認定看護師が2名、その他看護職が1名）と少数であった、参加の動機、相談したかったことは、「研究テーマの絞り込み」「研究デザイン」「データ分析方法」「結果のまとめ方」「研究の倫理的配慮」であった。

10点満点（VAS）で、個別相談の満足度への回答を依頼した結果、「相談したかったことを話せた」9.8点、「相談で得た情報や助言は役に立った」9.8点、「総合的な満足度」9.9点、「また参加したい」9.8点であった。

勉強会を終えての感想は「サブタイトルにひかれて参加したが有意義だった」「研究がちょっと身近になり、一歩前にすすんで計画書を書いてみようと考えられるようになった」「具体的なアドバイスをもらえ、パワーポイントがほぼ仕上がるところまで到達できた」であった。また、開催時間帯・長さは全員が「ちょうど良い」と回答した。開催時期については概ね「ちょうど良い」と回答したが、2～3月を希望する声もあった。

理事の積極的な協力によって、個々の参加者の準備状態やニーズに合わせた勉強会となり、学術集会発表への意欲につなげることができた。

今回の勉強会の参加者には9月の学術集会発表までのフォローアップをしていき、今後も開催日時や場所を配慮し、学術集会の発表に向けた勉強会を毎年開催していきたい。

学術集会発表や論文作成に少しのアドバイスを必要としている皆様、次回はぜひご参加ください。

## 平成29年度研究助成のお知らせ

会員の皆様の研究活動支援として研究助成制度を設けています。

詳細および申請書類につきましては学会ホームページ (<http://jsin.umin.jp/>) をご参照ください。

応募は平成29年4月1日～6月30日の間に受け付けております。

皆様のご応募を心よりお待ちしております。

### 研究助成募集要項

#### 【研究助成の趣旨】

生殖看護の実践に関する調査・研究を支援するために、会員を対象とし、研究費を助成し、生殖看護の発展を図ることを目的とする。

#### 【助成の対象】

個人又は共同の研究者を対象とする。

#### 【応募資格】

1. 研究代表者は会員であって、会員歴2年以上である者。
2. 共同研究者は、申請時に本学会会員である者。

#### 【助成金】

研究助成金は研究計画一編につき10万円を限度とし、当該年度の研究助成は2件までとする。

#### 【研究助成期間】

平成29年9月1日～平成30年8月31日までの1年間とする。

#### 【応募方法】

1. 学会所定の研究助成申請書に必要事項を記載し、2部（正1部、副1部）を下記担当者宛に「研究助成申請書類在中」と朱書きし、書留で送付する。申請書類は返却しない。
2. 応募受付期間：平成29年4月1日（土）～6月30日（金）

#### 【選考及び助成の決定】

研究助成審査会において選考審査の上、平成29年8月下旬に応募者に通知する。選考に関する問い合わせには応じられない。

#### 【助成金の使途】

研究活動に必要な物品費、旅費、通信・運搬費、印刷費などを含む。

#### 【研究期間】

研究期間は承認の日から1年以内とし、延長する場合や継続する場合は、年度毎に改めて申請を行い選考する。ただし、継続申請は2年を超えることはできない。

#### 【研究成果の報告】

1. 助成を受けた者は研究が終了後、すみやかにその結果を理事長に報告する。
2. 研究成果は2年以内に日本生殖看護学会で発表し、さらに日本生殖看護学会誌に投稿する。
3. 研究成果を他に発表する場合には、日本生殖看護学会の研究助成を受けたことを明記する。

#### <お問い合わせ・申請書類送り先>

川元 美里 （将来検討委員会 幹事）

〒104-0044 東京都中央区明石町10番1号 聖路加国際大学

TEL/FAX：03-6226-6384 E-mail：jsfnshorai@gmail.com



## 理事会報告



### 第2回理事会

日時：2017（平成29）年3月7日（火）

17：30～20：00

場所：聖路加国際大学 本館5階506室

出席者：野澤、上澤、森明、青柳、村本、實崎、坂上、崎山、有森（スカイプ）、村上（スカイプ）

#### 【報告事項】

1. 第14回日本生殖看護学会学術集会の事後報告。
2. 理事長：「生殖看護コンピテンシーモデル」科研の進捗状況。
3. 広報委員会：平成28年度広報委員会活動計画およびNL発行計画案。
4. 実践開発委員会：認定看護師のメーリングリストへの登録状況。
5. 編集委員会：学会誌の編集作業に関する業者委託検討状況。
6. 将来検討委員会：研究助成金交付後の成果報告状況。
7. 総務：本学会員管理、HP管理状況。
8. 「健やか親子21」の推進協議会総会。
9. 第15回日本生殖看護学会学術集会準備進捗状況。

#### 【審議事項】

1. 理事長：第20回日本IVF学会パネルディスカッション企画案を承認。
2. 理事長：日本癌治療学会「小児思春期、若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン」のパブリックコメントおよび乳がん患者の妊孕性に関する診療ガイドラインに対してのコメントを確認。
3. 教育推進委員会：第12回生殖看護実践セミナー計画案として講師とテーマを承認。
4. 編集委員会：学会誌のオープンアクセス化を承認、方法論は継続審議。
5. 将来検討委員会：研究助成金交付後に成果報告がない会員への対処を合意。
6. 入会審査：3名の入会を承認。
7. 学術集会への抄録作成の支援のセミナー開催を承認。

### 事務局からのお知らせ

1. 第15回学術集会、編集委員会への問合せは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
2. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、HP、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailもしくはFaxで、気軽にご連絡ください。
3. 学会の年会費は8,000円です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めをお願い申し上げます。
4. 異動・転居された方は必ず事務局までお知らせください。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌をお届けすることができませんので、ご協力お願い申し上げます。
5. 会員数356名（平成29年3月1日現在）です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。

#### ●次号の原稿締切日

ニュースレター第48号の原稿締切日は2017年9月25日（月）、会員の皆さまへのお届けは11月上旬を予定しております。

地区で開催する勉強会の開催案内や開催報告など、会員の皆さまと共有したい情報等がございましたら、広報委員（jitsuzaki02@gm.oita-nhs.ac.jp 担当：實崎（じつざき））まで原稿をご送付願います。

#### 日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing : JSFN

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

聖路加国際大学内

TEL & FAX 03-5550-2293 E-mail : jsin@slcn.ac.jp

ホームページ http://jsin.umin.jp

口座番号：00170-2-333414

加入者名：日本生殖看護学会

#### ◆編集後記

今年の夏も暑くなりそうですね。屋外での行楽等の際のみならず、室内での就業中にも熱中症対策はどうぞお忘れになりませんようご注意ください。

9月9日（土）の生殖看護実践セミナー（認定看護師の皆さま方は不妊症看護ポストコース講座も！）、10日（日）の第15回学術集会開催の地、新潟で皆さまにお会いできることを楽しみにしております！

広報委員会 實崎美奈